

教育民生常任委員会 摘 録

1. 開 催 日 令和8年8月24日(月) 第2委員会室
2. 出席委員 前田智永委員長 國利知史副委員長 近藤久子 岡野茂 青山学 松森潤平
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 横山和昭議会事務局議事調査係長
5. 説 明 員 なし
6. 傍 聴 者 なし
7. 会議に付した事件
 - 1 所管事務調査について
 - 2 その他

午後1時11分 開 議

○前田智永委員長 教育民生常任委員会を開会します。本日の出席者は全員ですので、直ちに開始いたします。本日の会議において、写真撮影、録音、録画、傍聴を許可しています。

1 所管事務調査について

○前田智永委員長 それでは、本日の協議事項ですが、1点目といたしまして、所管事務調査について、本委員会では教育条件整備、男女共同参画、健康寿命の延伸の3項目を挙げています。それぞれ順次調査等をしてきているわけですが、これについて、いま一度、皆さんと現時点での共有であるとか、今後の方向性を探っていきたいと思います。まず、12月定例会に向けて整理をしていく必要があるのかなと考えています。以前も申し上げましたが、男女共同参画と健康寿命の延伸の2項目を12月定例会で同時に報告する必要があるかなと思っています。いま一度、調査等をしっかりと進めて、最後の報告のところまで進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。教育条件整備については、3月をめどに調整ができればいいなと考えています。こちらのほうも併せて、また調査等をしていきたいと思いますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。では、1点ずつ確認等をしていきます。まず、教育条件整備について、これまで比和の小中学校であるとか、板橋小学校を調査させていただき、現地も視察させていただきました。校長先生もしっかりとお話を聞かせてくださって、どういう状況かについても調査してきたわけですが、これについて何か皆さんからありますか。

○近藤久子委員 各委員がまとめておられるレポートがあると思います。それが一番の基本になるかなと思います。その中で同じような内容があれば絞ればいいし、今後どうしていくのかということがあればまた詰めていけばいいし、そういう進め方でどうでしょうか。今は再配置計画はまた検討することになっていますが、まだそこまではいかないのです。板橋は峰田小学校から来て増えました。比和の小学校と中学校については減っていますし、中学校はどうだろうかという現状がありますが、その現状を踏まえたレポートを皆さんが出しておられます。それを一番の基本にしてまとめてはどうかかなと思います。今はそこまでしかまとめられないと思います。

○前田智永委員長 他にありますか。

○青山学委員 先ほどの近藤委員の意見に賛成です。

○前田智永委員長 他にありませんか。1点、私から御提案といいますか、前回の定例会後でしたか、今後の小中学校の在り方検討会について説明を受けたかと思います。そのことについて、まだ実際にそれぞれの地区で始まっているという報告は受けていませんが、あれから時間がたっていますので、どのような方向性でということも含めて、いま一度、確認させていただく機会を担当課と持てないかなと思いますが、皆さんの御意見を頂戴したいと思います。

○岡野茂委員 賛成です。教育条件整備を考える上で、例えば、施設の改修などを今後どのように対応するかとか、あるいは少人数校であれば、クラブ活動をどのように確保して子供たちの活動の機会をつくるかというのも教育条件整備です。そう考えると、在り方の考え方によってその辺の方向性が決まってくるので、どういう議論になっているのか、どこまでの範囲を考えられているのか、ぜひ聞かせてもらう機会があればいいと思います。

○近藤久子委員 今言われたことは教育委員会から若干出ていませんでしたか。比和と総領の中学校ではなかったですか。それは庄原中学校へどうだろうかという表まで出ていましたので、教育委員会はそれで進めるのだと思います。今から就学児童を抱えた保護者、地域の方々、もちろん自治振興区も含めてオーケーが出ないとなかなか進みませんけれども、その方向性について、どうして決めたのかと言うのもおかしいし、それをどのように聞けばいいですか。表に出ていましたので、教育委員会は一応、方向性は示していると思います。だから、それをもう一度確かめるということでしょうか。

○岡野茂委員 その方向性が出ているにもかかわらず、なぜ在り方検討会を行われるのかということですね。どういう議論がされているのか、途中で聞かせてもらいたいという趣旨です。

○近藤久子委員 そういう趣旨で、どのように進められるのでしょうかと聞いたときに、我々の意見があります。言われたように、クラブ活動はどうなるのだろうかとか、通学の距離が一番遠い子はどうするのか、スクールバスのものはどうなのかということをこちらが質問する機会是要ると思いますが、まだ決定されていませんので、その時期が少し微妙かなと思います。そういうことを検討しないといけないのではないですかということは聞けますが、向こうからこうしますということは、再配置計画のゴーサインはまだ出ていませんので、ゴーサインを出すまでの条件的なことを保護者とか地域の方に教育委員会がどう説明しているかですよね。それを今どの程度私たちが知れるのかなというところがポイントかなと思います。

○前田智永委員長 時期早尚ではないかという点と、いま一度、この委員会でも確認させていただきたいという点、双方があると思います。どの程度進んでいるのかが分からないと、前回説明を受けたところから何も進展がなければ重複した説明を受けても仕方がないので、そこから進展があるかどうか、方向性等を示すものがあるかどうかをまずこちらで確認させていただいて、いずれにしても当初予算で示されていますので、その予算がどういった使い方をされているかという意味でも確認ができることはあるかと思います。すぐにできるかどうかはこちらに一任いただいて、また協議をさせていただければと思いますが、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○前田智永委員長 そのほかにありませんか。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○前田智永委員長 では、次の男女共同参画に移ります。これは、奈良に視察に行かせていただいた報告はこちらでまとめさせていただこうと思いますし、一定の方向性というか、まとめのところではできている段階ではありますが、最後の提言に向けて少し弱いといえますか、どこを本当に言っていくのかを絞り切れていないと感じていますので、いま一度、皆様から御意見を頂戴したいと思います。

○國利知史副委員長 この件に関しては、視察に行ったりとか、そういう時期が結構前なので、先ほど近藤委員からもありましたけれども、その報告書を、皆さんがどのようなことを思われたのかを確認の意味で一度議論したほうが、まとめる前に皆さんの意識を統一するためにも、その辺についてもう一度集まって話をしたほうがいいのかと個人的には思います。

○前田智永委員長 他にありませんか。

○近藤久子委員 國利副委員長が言われたように、それでいいと思います。もう1回振り返らないと、時には全国的なデータも出てきました。それと庄原市はどうか、広島県はどうかと比べることはまだできていません。それによって私たちは庄原市でどのように動けばいいのだろうか、どういう提言をすればいいのかというところを煮詰める必要があるのかなと思います。皆さんでそこに行ったことは大きな前進であると思います。かなり前のことなので、皆さんのまとめたものをもう1回読み返しましょう。

○前田智永委員長 分かりました。皆さん御異議はありませんね。では、今定例会の中でどこで設定ができるか事務局とも相談させていただきながら、皆さんに足を運んでいただくよりも、何かの会議と一緒にできればいいかなと思います。その辺りでまた皆さんと振り返り、もしくは今後の提言に向けての煮詰める作業をしていきたいと思いますので、御承知おきください。最後の健康寿命の延伸ですが、こちらについても、県にお話を伺ったり、担当課の保健医療課にお話を伺ったりはしましたけれども、それからどのように進めていくか、皆さんの御意見を伺いたいと思います。

○近藤久子委員 先ほどの2点と同じように、皆さんの報告書が一番の基本になるかなと思います。学んだのは学んだけれども、庄原市にどう生かしていくのかという提言がないと、行った意味がないかなと思います。その中で面白い言葉もありましたよね。30代以上の方、女性の骨がどうのこうの。それと、シルバーリハビリ体操みたいに、ちゃんと指導者がいて同じようなことを。それももちろん進めなくてはならないし、大きな事業の一つですが、例えば、集まったときに、手をこうしましょうとか、そういう簡単にできる、負担にならない運動が庄原市内で広まっていけばいいかなと。それも提言の中に入れていただければいいかなと思います。何人でも簡単にできることを。

○前田智永委員長 今、近藤委員からシルバーリハビリ体操のことも御発言いただきました。当初、皆さんにお諮りしていましたが、熊野町、尾道市、本市の3市町が合同で、毎年夏頃にシルバーリハビリ体操の報告会なり勉強会を設けておられるのですけれども、今回同席させていただきたいという話まで皆さんにさせていただいたかと思います。それが台風で中止になり、書面でのやりとり等も実現していないと聞いていますので、これについては、申し訳ないのですが実現しなかったということで御承知いただければと思います。ただ、本市においては、3市町でずっと取り組んできたシルバーリハビリ体操が各旧町でもしっかりと実施されていて、問題・課題もある中でも楽しく取り組まれているということもお伺いできるかと思うので、これについては、担当課ともまた話をしながら、どのようにしていくかということも協議できたらいいのかなと個人的には思っています。報告書も皆さんから出していただいたものをしっかりとまとめていきたいと思います。温泉、プールについて、本市に

ある資源を有効に活用して何か提言に向けて進めていけないかという議論もあったかと思いますが、皆さんから何か御意見がありますか。

○岡野茂委員 健康寿命を考えたときに、働く世代がどのように日常生活の中でそういう意識を持って活動するというか、生活するかという点が非常に難しいのではないかなと。忙しい生活を送っている。共稼ぎの家庭が多い。子供たちの面倒を見るとなると、自分たちが運動をしたり、健康寿命延伸の時間がなかなか取れないというときに、歩いてみたくなるようなウォーキングコースであるとか、あるいは温泉と組み合わせて、庄原市の場合は温泉が健康増進施設という名前になっていますので、そういうネーミングに合わせて、温泉と健康づくりをどのように考えていくのか。そのことが楽しみになる、自然にそういう活動をしたくなるようなことも提言できればいいのかなと思っています。県に行ったときの報告書の中にそのように書いていますので、それこそもう一遍、それぞれが読み合わせをして考えてみればいいのかと思います。

○前田智永委員長 健康増進施設に位置づけられている施設が温泉施設全てではありません。その辺りについては所管課もあるので、整理も必要かなとは思いますが、高野の温泉は今、修繕のため休業中です。それから、最近レジオネラ菌も頻発していて、何か所か出ていると思います。そういったことも含めて、いま一度、方向性なども伺ったり、最低限こういった対応をしていかなければいけないのではないかな、保守点検や、修繕費もずっとかかるのは分かっているの、そういった計画等がどのようになっているかというところについては調査が必要なのかなと思います。全ての温泉ができるかどうかは所管課と話をしてみないと分からないところはありますが、提言をするのであれば、ただやみくもに、これを生かして取り組みなさいという提言にはできませんので、可能な限りしっかりと調査をした上で、本当にこれを使って取り組んでいけるのかという視点も持ちながら調査ができればいいのかなと感じましたが、いかがでしょうか。何かありますか。

○近藤久子委員 西城はこの前行ったら復活していました。東城は健康増進施設に位置づけられていますが、源泉が尽きるのではないかなとか変な話もあって、永久的にできるかどうか。沸かすのにも、結構ボイラーの調子が悪かったりとか、永続的なことはあまり聞こえてこないのです。私たち毎日行っている者にしてみたら、確かに温泉ですから、いつか岡野議員が言われたかな。行ったことに対してポイントをつけるとか、それが自分の健康にもつながるし、何かの活性化にもつながるし、商業的なことにもつながるといったプラスの循環がきれいに回っていけばいいかなと言われていましたが、そういうことができればいいかなと思います。ただ、温泉そのものがいつまで永続できるかをすごく心配しています。源泉の減少であるとか、利用者の減少であるとか、そういうことを考えたときに、若干危惧しています。減り続けていると思います。それは入館者を見れば分かると思います。

○國利知史副委員長 今、レジオネラ菌が問題になっていて、高野も修繕が必要だということで止まっていますが、教育民生常任委員会として調査をするのであれば、そういう施設的なことは管轄外になってくるかと思うので、温泉を利用した健康増進が果たして可能なかという、例えば、ラ・フォーレならウォーキングコースもあるし、体育館もある。大広間もあって、そこでしょうと思えば体操教室もできる。私も実際にしていたことがあるので、ああいう施設ならできるけれども、ほかの施設ではそういう活動ができるのかとか、そういう施設的なところではなく、その施設で健康増進につながる活動ができるのかどうかという調査はしたほうがいいのかなとは思いますが。

○近藤久子委員 東城は温泉プールなのです。腰痛の人が山陰の病院に行かれて、「自宅はどこですか」

「東城です」「わざわざ山陰の温泉に来なくても、いい施設があるではないか。あそこを歩いたほうがいい」と言われて、それでよくなったと。その人はですよ。だから、温泉のプールがあることはすごい強みなのです。歩いている方もおられるし、それは認めます。

○前田智永委員長　健康増進を目的とした施設になっているのは、現在、不確かではありますが、高野と東城になるのかなと思っています。西城については、温泉はなっていないけれども、水夢というプールはなっているのですかね。健康増進ということになると、そういった視点も必要にはなってきますが、その中でも、該当施設になっていなくてもそういった視点が必要ではないかという点が一つ。それから、そういった視点になっている施設なのだけれども、逆に観光であるとか、商業目的というところも含めて、今後の方向性、本当にここは守っていくのかという点と両方あると思います。そういったところも含めて、提言をする前にしっかりと調査をして、話を聞かせていただいた上で、また皆さんと議論が重ねられたらいいのかなと、皆さんのお話を聞かせていただいて思いましたので、担当課と事務局と相談させてください。それで、現在ある温泉・プール等の施設をどの程度、健康増進という視点で生かされているのか、生かしていけるのかという調査が少しできたらいいかなと思いますので、協議をさせてください。

○近藤久子委員　現地に来てください。プールがどうなのかとか。

○前田智永委員長　分かりました。では、これについては現地視察も含めて調査をしていくということによろしいですか。

〔はい〕と呼ぶ者あり〕

○前田智永委員長　では、そのように進めさせていただきます。そのほか何かありますか。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○前田智永委員長　では、協議事項1点目の所管事務調査について、現時点での共有であるとか、方向性についての議論を終わります。

2 その他

○前田智永委員長　2点目、その他について、何かお持ちの方がおられますか。よろしいですか。それでは、また定例会が始まりますので、皆さんそれぞれ一般質問や、教育民生分科会があります。審査をしていかなければなりません。それについて、いま一度、分科会の前に勉強会を開こうではないかというお話もいただきましたので、所管課が変わったところについては協議をさせていただきたいと思います。また皆様にお諮りさせてください。事務局からはよろしいですか。それでは、本日の教育民生常任委員会を閉会いたします。

午後1時35分　散　会

庄原市議会委員会条例第 30 条の規定により、ここに署名する。

教育民生常任委員会

委 員 長